

## 愛宕山開発用地に関する協議結果について

愛宕山開発用地に関して、岩国市長及び山口県知事が協議を行いました。その概要は下記のとおりです。

### 記

- 1 日 時 平成 23 年 12 月 22 日（木） 15 : 00～15 : 40
- 2 場 所 山口県庁 財政査定室（本館 3 階）
- 3 協議者 山口県知事 二井 関成  
岩国市長 福田 良彦

#### 4 協議結果の概要

- (1) 愛宕山開発用地の 4 分の 3 の区域については、県議会・市議会が出された意見等を踏まえ県・市で協議した結果、国に売却することで最終決定した。
- (2) 米軍再編に対する県・市の基本スタンスは一致しており、愛宕山開発用地を国に売却しても、そのスタンスは引き続き堅持し、国に対して、言うべきことは言うという姿勢で対応する。
- (3) 政府要望時に、県・市の基本スタンスについて防衛大臣が発言された内容を基本としながら、米軍再編を進めるに当たっては、国の責任において、地元の要望を十分受け止め、地元の理解と協力を得る努力が必要であるという考え方に立って、本日（12/22）付けで、知事と市長の連名で、防衛大臣に対し、県・市の基本スタンスや地元要望に対する国の見解を、別添により文書で照会し確認する。
- (4) 本日の最終決定を踏まえ、一川防衛大臣に面会して、確認文書に対する見解を得た上で、国の理解と誠意ある対応を求めるとともに、愛宕山開発用地を国に売却する旨を伝える。
- (5) 日程については、年内に可能かどうかも含め、国と早急に調整する。

#### 5 市長コメント

本日、知事と、愛宕山用地に関する対応について協議を行い、国が買取りを求めている 4 分の 3 の区域については、国に売却することを両者で確認し、最終決定といたしました。

また、米軍再編問題に対する県・市の基本スタンス及び市の要望事項である安心・安全対策、地域振興策、海上自衛隊の残留等に対する防衛省の見解を確認するため、知事

と連名で、防衛大臣に文書で照会し、文書で回答をいただくという方向で、国と確認文書を取り交わしたいと考えています。

私としては、国におかれては、地元の強い要望を十分に御理解いただき、これまで積み上げてきた信頼関係に基づき、誠意ある回答をいただけると考えているところです。

いずれにしても、安心・安全対策等について、多くの市民の皆様方に納得いただける成果が得られるよう、引き続き、全力で取り組んでまいります。